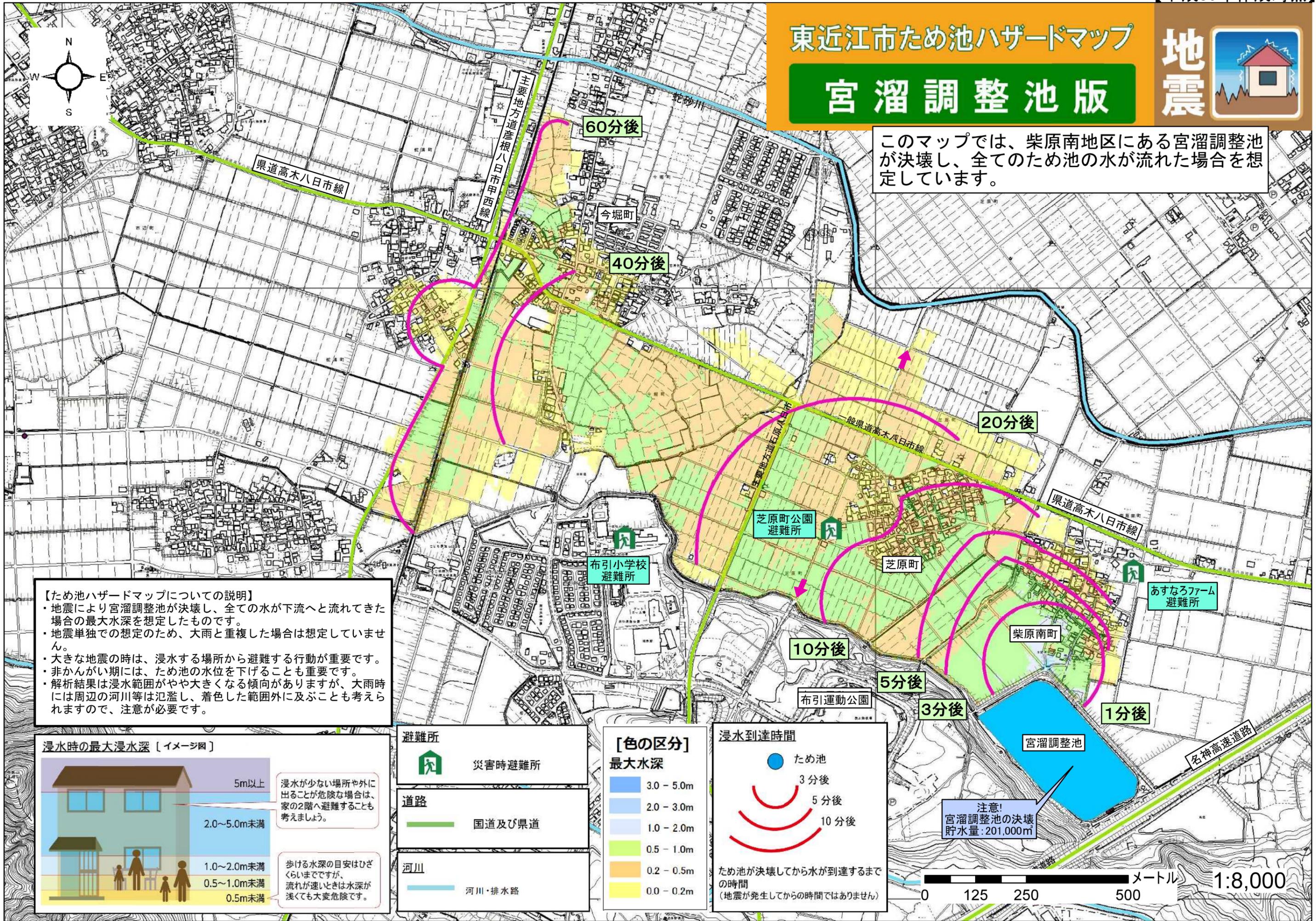


東近江市ため池ハザードマップ

宮溜調整池版



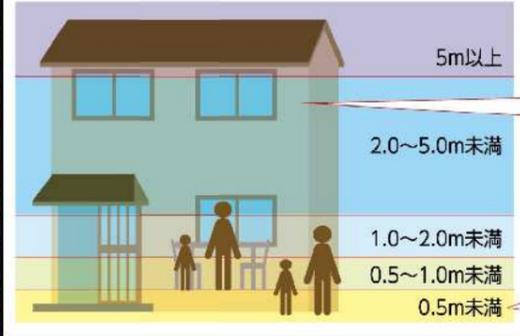
このマップでは、柴原南地区にある宮溜調整池が決壊し、全てのため池の水が流れた場合を想定しています。



【ため池ハザードマップについての説明】

- 地震により宮溜調整池が決壊し、全ての水が下流へと流れてきた場合の最大水深を想定したものです。
- 地震単独での想定のため、大雨と重複した場合は想定していません。
- 大きな地震の時は、浸水する場所から避難する行動が重要です。
- 非かんがい期には、ため池の水位を下げることも重要です。
- 解析結果は浸水範囲がやや大きくなる傾向がありますが、大雨時には周辺の河川等は氾濫し、着色した範囲外に及ぶことも考えられますので、注意が必要です。

浸水時の最大浸水深【イメージ図】



避難所

災害時避難所

道路

国道及び県道

河川

河川・排水路

【色の区分】

最大水深

- 3.0 - 5.0m
- 2.0 - 3.0m
- 1.0 - 2.0m
- 0.5 - 1.0m
- 0.2 - 0.5m
- 0.0 - 0.2m

浸水到達時間

- ため池
- 3分後
- 5分後
- 10分後

ため池が決壊してから水が到達するまでの時間
(地震が発生してからではありません)

注意!
宮溜調整池の決壊
貯水量: 201,000m³

0 125 250 500 **メートル**

1:8,000